

27 事務所

【関連章第7章9】

事例2 「事務所内のコンセントから出火した火災」

出火時分 4月 13時ごろ
用 途 等 複合用途（事務所・物品販売店舗等）
耐火造 14/3 延 28,000 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 壁付コンセント1基等焼損
概 要

この火災は、複合用途建物の7階事務所から出火したものです。

出火原因は、事務室のロビーにサーモカメラを設置する工事を行うため、作業をしていたところ、コンセントカバーが外れ、外しかけたプラグとコンセントの間にカバーが接触したため、プラグとアース間で地絡したものです。

作業員は、サーモカメラの設置工事中、壁付きコンセントを取り外したところ、突然コンセント部分がスパークし、その後コンセント部分が黒く変色しているのを発見しました。

防災センター警備員は、漏電警報の鳴動を確認し、設備業者とともに7階を確認したところ、コンセントの焼損を確認後、防災センター内の固定電話で119番通報しました。

教 訓 等

機器に電気が流れている状態で電源プラグ等の導通部分に電気が流れるものを挟み込んでしまうと短絡や地絡を引き起こしてしまいます。火災が発生するほか、感電する恐れもあり大変危険です。コンセントに接続して使用している機器については、コンセントとプラグの間に隙間が無いか定期的に確認することも大切です。



写真 27-4 コンセントカバーとプラグの
接触状況の再現



写真 27-5 コンセントカバーの焼損状況